

中札内より元気いっぱい!

北海道中札内高等養護学校 校長室より

第18号

令和4年9月26日(月)

学校の看板が生まれ変わりました

40年前、学校が開校してからずっと学校の顔として設置されていた看板が、この度生まれ変わりました。季節の変わり目や除雪などの影響により、角が削れてしまった部分を洗浄し、コンクリートで補修し、ペンキを塗りなおしてもらいました。すべての作業が完了した工業科の3年生が、作業終了の報告に来てくれました。工業科の皆さん、本当にありがとうございました!



ビフォー：角が削れ、全体的に汚れが目立っていました



一番難しかったのは、文字のペンキ塗りです。はみ出さないように気を付けながら塗りました。とても緊張しました。



工業科の生徒たちと先生が数日かけて作業し・・・



ペンキ塗りたての看板を、テントウムシが見に来ていました



アフター：「なんということでしょう♪」生まれ変わりました



地域と連携した学習を!

先日、フェリーエンドルフ、いくつか製品を見せてほしい、と依頼があり持って行っていただきました。その後、フェリーエンドルフのスタッフの方から、「連携したい」という声をいただき、具体的なお話を伺うため、小田原先生と熊倉先生がフェリーエンドルフに伺いました。

学校に関心を持っていただく方が増えるのはとてもありがたいことです。学校に何ができるのか?どんな連携が村の元気、発展につながるのか?それらは、直接会って、直接話をして生まれることがほとんどです。

大人がワクワクしながら打ち合わせする写真・・・そうやって生まれる学習は、きっと生徒たちにとってもワクワクできる学習になると思います。これからもよろしくお願いします。



熱く話し合いが続きました